

ほどよい田舎いばらきまち

茨城町公式シティプロモーション
サイトです。

http://www.town.ibaraki.lg.jp/ibarakimachi_kurashi/



茨城町交流・定住促進協議会
(茨城町町長公室企画政策課)

〒311-3192
茨城県東茨城郡茨城町大字小堤1080番地
TEL:029-292-1111 FAX:029-292-6748
E-mail:shinseisaku@town.ibaraki.lg.jp
HP:<http://www.town.ibaraki.lg.jp/>

平成30年2月28日発行

ほどよい田舎 いばらきまち

茨城町での「暮らし」始めませんか？

水と緑の豊かな自然に育まれた
魅力いっぱいのまち

茨城町の恵み
涸沼

涸沼は淡水と海水が混じり合う全国的にも珍しい汽水湖で、良質なヤマトシジミの産地です。水鳥の生息地、絶滅のおそれがあるオオワシの越冬地として知られ、生き物の宝庫と言われています。2015年5月ラムサール条約に登録されました。

茨城百景
親沢

涸沼北西側湖畔にある松林に囲まれた公園。涸沼に沈む夕日は時を忘れる美しさです。水戸黄門として知られる水戸藩の第二代藩主徳川光圀公が詠んだ和歌、「子を思ふ 涙ひぬまの一つ松 波にゆられて幾代へぬらん」が、碑に刻まれています。

人にやさしいまちづくり。



潤沼自然公園

34.5haの広大な敷地を持つ潤沼自然公園。自然の地形をそのままに生かしたユニークな広場が5つあり、季節ごとの花も楽しめて家族でのおでかけに最適です。特に高台にある「太陽の広場」からは潤沼が一望でき、見晴らしも最高! 園内には環境の整った250張設営可能なテントサイトや56区画のオートキャンプサイトがあり、アウトドアライフを満喫できます。



名勝親沢・親沢公園

松が生い茂る潤沼の景勝地。湖畔に突き出ている「親沢の鼻」と呼ばれる一帯は、県指定の名勝地です。「親沢の一つ松」を詠んだ徳川光圀公の句碑が残されています。また、園内にはテントが持ち込めるので、バーベキューをしながら湖畔でキャンプも楽しめます。



名勝広浦・広浦公園

水戸八景の一つ「広浦の秋月」で知られる名勝広浦。晴れた日には鳥居の向こうに筑波山を望むことができます。キャンプやサイクリング、水遊びを楽しめるほか、目の前が絶好のフィッシングポイントとなっており、釣りファンにも人気のスポットです。



網掛公園

「親沢の鼻」の対岸にある「弁天の鼻」につくられた公園。潤沼の見晴らしが良く、のんびりと日向ぼっこやピクニックにおすすめの公園です。湖岸では釣りも楽しめます。また、ひぬま野鳥観察台が設置されており、野鳥観察や撮影にも人気のスポットです。

茨城町ってこんなところ！

茨城町のこんなこと、あんなこと、ご紹介します。
茨城県のほぼ真ん中、農村部と都市部が調和するほどよい田舎。都心から90分の距離にありながら、水と緑に囲まれた手つかずの自然が癒しと安らぎを与えてくれます。



DATA

町域：東西17km
南北14km
面積：121.58km²
人口32,227人
男性15,934人 女性16,293人
(常住人口 平成30年2月1日現在)

茨城町までのアクセス

飛行機	茨城空港	1時間30分	札幌
		1時間15分	神戸
		1時間35分	福岡
		2時間30分	那覇
	茨城町役場←茨城空港 (車20分) (バス30分)		
電車	JR水戸駅	1時間15分 (JR常磐線特急)	東京
	茨城町役場←JR水戸駅 (車25分) (バス40分)		
高速バス	茨城町西I.C.	1時間30分	東京
車	茨城町役場	1時間30分 (常磐道)	東京

※所要時間はおおよその時間です。

KEY WORD

気候は
“ふつう”です

夏は暑すぎず冬は寒すぎない、雨も雪も多くない。ふつうにすこしやさしい町です。また、自然が多く、四季を感じられる景色が魅力です。

実は関東、
首都圏です

東京から100km圏内、茨城県のほぼ中央に位置し、水戸市や茨城空港がある小美玉市に隣接。東京駅から高速バスも走り、全国からアクセスしやすい町です。

水がすごく
おいしいです

茨城町の水道水は、深井戸から汲み上げた地下水を原水として作られています。町内には深井戸が数多くあり、安定した水量を確保しています。

医療・福祉に
恵まれています

地域医療支援病院の指定を受けた水戸医療センターや保育園、介護老人福祉施設などの立地により、医療及び福祉施設に恵まれた町です。

うんめえもの



メロン

茨城町のメロンは、茨城県青果物銘柄産地に指定されており、なかでも県の特別栽培農産物の認証を受けた「愛ちゃんメロン」は、甘くてみずみずしいメロンです。



栗

茨城町は地形や土壌に恵まれ、高品質な栗の産地です。特に、「飯沼栗」は独自の栽培技術等により大果でた「愛ちゃんメロン」は、甘くてみずみずしいメロンです。(GI) 保護制度にも登録される最高級品です。



ヤマトシジミ

ラムサール条約に登録された汽水湖の濁沼は良質なヤマトシジミが採れる全国でも有名な産地です。栄養価が高く、大粒で肉厚、濃厚な味わいが特長です。



常陸牛

雄大な自然環境のもと、最高の飼料と管理技術を駆使し、情熱と誇りが資質豊かな銘柄黒毛和牛「常陸牛」を育てあげています。肉質がきめ細やかでコク深い風味が特長です。

お祭り



あじさいまつり

毎年6月下旬から7月中旬にかけて濁沼自然公園で開催。一万株のあじさいが咲きほころ、色とりどりの「あじさいの谷」は一見の価値あり。



あんばまつり

数隻の船をつなぎ合わせて山車に見立てて濁沼に浮かべ、太鼓や笛のおはやしで踊る全国でも珍しいお祭り。湖上で五穀豊穡と無病息災を祈ります。



いばらきまつり

毎年11月上旬に開催される町のビッグイベント。特に「模擬上棟式(まきもち)」は迫力満点です。フィナーレには花火の打ち上げが行われます。

歴史スポット



小幡城跡

15世紀頃に遡る遺構・遺物が認められ、その頃に築城されたと推測されています。城跡内には複雑に入りくんだ郭や変形武者走り、櫓跡、折などがあり、さまざまな工夫がみられます。



小幡北山 埴輪製作遺跡

6世紀中頃から7世紀前半の遺跡。埴輪窯は59基発見され、全国的にも大規模な埴輪窯跡群と言われています。このほかに工房や粘土採掘坑が見つかっています。



大戸のサクラ

水戸黄門で知られる徳川光圀公も鑑賞したと伝えられる桜。樹齢約500年のシロヤマザクラで、大正時代には枝が大きくはり出し、その広さは300坪もある巨木であったと言われています。



木村家住宅

江戸時代の長岡宿の脇本陣(大名などが休泊した本陣の予備にあたる宿舎)です。水戸街道にある本陣に類する建物の中でも茅葺屋根のまま残されているものは県内ではごくわずかです。

茨城町

一日
移住体験

はじめての茨城町 「ぐるっと体験ツアー」 レポート

2月初旬のお天気に恵まれたある日、茨城町の暮らしの体験にやってきましたのは埼玉県に住む関根さんファミリー。「茨城町には初めて来ました」という彼らが、まるっと一日かけて茨城町を巡ります。



茨城町といえば潤沼! まずは船に乗って漁を見学

関根さん一家がやって来たのは潤沼にある広浦漁港。ここから船に乗り込み漁見学へと出発します。前日に網を仕掛けたポイントに船が到着すると、網の引揚げがスタート! 漁師さんが黙々と網を手繰り寄せます。しばらくすると、全長50cmはありそうな大きな魚をゲット! 『うわ〜! すこ〜い!!』とみんな大興奮です。その後、次々と魚が水揚げされ、結果10匹近くの大漁となりました。



ポイント到着後、ずっと立ち上がり網の引揚げを始めた漁師さん。静かに網を手繰り寄せる姿が美しい潤沼の景色に溶け込み、神聖な儀式を見るようでした。



今回網にかかったのは「マルタ」という魚。魚を見るや否や、ワクワクが止まらない唯斗くん。じっと眺めて様子を伺ったり、手で触ったりしながら自然を肌で感じていました。



木を削ってつくる “マイ箸づくり”に挑戦

次は、“マイ箸づくり”に挑みます。予めお箸の形に切った木をヤスリで削るという簡単な作業……と思いきや、先端を細くしたり角を丸く整えたりするのは意外と難しく、『結構力を使いますね!』とママ。この体験では、木によって色も重さも香りも違うことがはっきりと分かるので、作り上げたお箸は、「自分だけの特別なもの」として大切にできそうです。



この日は、黒檀、紫檀、桜、槐(えんじゅ)、樺、楓、鉄刀木(たがやさん)、松の8種類から好きな木を選んでお箸を作りました。どれにしようか迷いますね!



作ったお箸を使って、先程水揚げされた魚を試食。プリプリとして旨みたっぷりの白身魚でした。マイ箸を使うとさらに美味しく感じます。

茨城町で農業・漁業体験しよう!

今回の体験以外にも、旬の農産物を自らの手で収穫することができる農業体験、シジミ漁の見学やうなぎなどを獲る伝統漁を体験できる漁業体験など、豊富な体験プログラムをご用意しています。また、児童・生徒を対象とした農家民泊も行っていますので、お気軽にお問い合わせください。

TEL: 090-9646-9775 E-mail: info@hiroura.jp
Facebook: 「ひろうら田舎暮らし体験」で検索

ひろうら
田舎暮らし
体験
推進協議会



茨城町

一日
移住体験



ゆうゆう館外観

実際の住み心地はどんな感じ？ 町の公共施設をチェック！

色々な体験を楽しんだ後は、茨城町での暮らしに触れるため公共施設へ。まず最初に足を運んだ「茨城町総合福祉センターゆうゆう館」は、図書館や保健・福祉・子育て支援センターなどが1箇所に集まった施設です。茨城町の人にとっては、友達と遊んだり本を読んだりする場所として、小さい頃からよく利用する場所です。『建物も駐車場も広々としているし、施設全体がきれいで掃除も行き届いていて良いですね』とパパも関心した様子。その後、近年整備を進めている小中学校などを巡りつつ、新しい街づくりが進む「桜の郷」へと移動します。



(写真左) 吹き抜けになっていて明るい「ゆうゆう館」のエントランス。子どもから大人まで、幅広い世代が利用する施設です。
(写真右) 平成28年に開校した葵小学校。茨城町には小学校が4校、中学校が2校あり、冷暖房などの設備も整っています。



生活に必要な全てが揃う 「桜の郷」の魅力を実感！

体験ツアーの最後に訪れたのは、茨城県が主体となって整備を行い、医療・福祉など安心の住環境を備え、次世代の暮らしを見据えた新しい街づくりが進む「桜の郷」。医療センターやコミュニティセンター、介護施設をはじめ、保育園やスーパーまで、ひとつの街の中に様々な機能が備わっています。ここからは茨城県庁まで車で約10分、茨城空港まで約30分と聞き、『申し分のない立地ですね』とパパとママは驚いていました。



「桜の郷」の中心にある独立行政法人国立病院機構水戸医療センター。総合病院がすぐ近くにあると、万が一のときも安心です。



医療センターのすぐそばにある保育園。都会暮らしでは中々見ることのない、広々とした園庭があります。

広大な公園を発見！ 『パパ、一緒に走ろう！』

公共施設や住宅地の見学が続き、動きたくてうずうずしていた唯斗くん。桜の郷にある大きな公園を見つけると、『やったー！走ろう！』と駆け出しました。ここではボール遊びも大きな声も全部OK。元気いっぱいの子もたちが、思いっきりのびのびと遊んでいます。唯斗くんは公園内にある大きな広場でパパと一緒に何度もかけっこをして、今日一番の笑顔を見せてくれました。



一日
移住体験
してみて…



立地や環境にとっても恵まれた場所。 次は農家民泊に行きたいです！

今まで知らなかった茨城町のまち全体の雰囲気を知ることができ、とても楽しい時間を過ごすことができました。茨城町の立地や環境はとても魅力的でしたし、食べ物も美味しく、農家民泊などを利用して今後も遊びに行きたいと思います。野生のキジに出会ったり、オオワシが渡ってきたりと、自然の豊かさもさることながら、出会う人がみなさん明るく良い方だったのが印象的でした。(関根 亮さん)



笑っている時間が
増えました

移住者
インタビュー
1

高橋 直也さん

農業法人から独立することを決め、2016年9月に埼玉県から移住。新規就農希望者向けの制度を利用し、現在は妻の靖子さんと共にニラの生産を行っています。昨年長女の靖奈ちゃんが誕生。

独立を決め、移住先を探し始めたのは2016年5月。そのときは既に前の職場を退職していたので、急いで色々な自治体の情報を調べました。その中でも茨城町は就農支援が充実しており、町の担当の方がとても熱心だったので「ここにしよう!」と8月には決めていました。具体的には、家探しから就農のための研修、農地の斡旋、資金面の援助などを受け、移住後の生活や仕事がスムーズに進み本当に助かりました。

現在は夫婦二人でニラの栽培をしています。これも町の人からの意見が参考になりました。例えば、町の名産品でもあるメロンも候補の一つでした。メロンは高収入を得やすいのですが、年に1度しか収穫できないリスクがあります。その点、ニラは初期投資が少なく一年に何度も収穫できると聞き、着実に生計を立てたいと思っていた私たちにはぴったりだと思いました。

以前は収穫時期には夜中まで作業をしたりし

ていましたが、今は幼い子どもがいるので、無理せず自分のペースで仕事をしています。そもそも、こういう仕事は天候が悪い日には休むしかなかったですし、『焦っても仕方ない』とのんびり構えることが多くなりました。以前とは違い時間に追われている感覚が薄れ、自分で自由に時間を使っている気がします。

埼玉で暮らしていたときと一番変わったのは、夜遊びをしなくなりましたね。夜遅くまで開いている施設も多くないので、家族でゆっくり過ごします。とても健康的な日々ですよ(笑)。娘が生まれてからは、家族で笑っている時間がさらに増えました。

今後は生活を安定させて、5年以内には町の補助に頼らず自立したいです。私と同じように農業を始めたいという人にとっては、茨城町はとても良い環境だと思います。思い切って飛び込んでみて大丈夫だと思いますよ。



全てに手が届く
シンプルな暮らしです

移住者
インタビュー
2

宅間 教雄さん

都内の水産会社を早期退職後、神奈川県川崎市から2016年7月に茨城町へ移住。フリーの通訳として活動する傍ら、山歩きやサイクリングなどの趣味を満喫中。お母様と奥様の3人で暮らしています。

移住のきっかけは、63歳の時に早期退職したことです。あと2年働くよりも早めにセカンドライフを楽しみたいという気持ちが強く、同時に、独り暮らしをしていた母を呼んで一緒に住みたいと考えていました。そんな折、たまたま桜の郷の近くを通りかかったのです。美しく整備され、すぐ近くに病院や介護施設、スーパーがあり理想的な場所だと感じました。

茨城町のことは、妻の実家が隣町なのでよく知っていました。自然豊かで海や湖、山もすぐそばにあり、水戸市へのアクセスも良いという、地の利が最大の魅力だと思います。

実は、移住した当初は農業に興味があり、茨城県立農業大学校に通っていました。その頃ふと、以前仕事で使っていたインドネシア語を生かせる活動がないかな、という思いがよぎったのです。色々探した結果、町が紹介してくれた国際交流協会での通訳ボランティアを始める

ことになりました。それがきっかけで各方面からお仕事を頂くことが増え、今はフリーの通訳として活動しています。インドネシア語は前の仕事で使い始め30年近く経ちますが、今依頼を受ける仕事のジャンルは多岐に渡っており、また新たに勉強することも多く刺激になります。

プライベートでは、車を運転するのは私だけなので、買い出しや母の通院などを手伝っています。自由な時間には、「つくば霞ヶ浦りんりんロード」へ行ってサイクリングをしたり、難台山や吾国山等に行って山歩きをしています。車で少し行けば豊かな自然があるので、以前よりも運動をすることが増え健康になりましたよ。

今後は通訳の仕事ライフワークに据え、妻や母と和やかに暮らしていきたいですね。目下の楽しみは旅行で、私がかつて暮らしたインドネシアの町や娘が暮らすニュージーランドに、妻と訪れる機会を作りたいと思っています。

はじめてのいばらきまち 暮らしの Q & A



田舎暮らしをはじめるとは、 どんな準備が必要ですか？

どんな田舎暮らしがしたいですか。自分が希望するライフスタイルを想像してみてください。そして、実際に訪れて、地域のイベントなどに参加して、町の“色”をよく見てください。「移住してみたら、なんか違った。」なんて、よくあるそうです。

住宅をどのように 探せばいいですか？

まず、足を運びたいのは、賃貸・売買物件共に地域の情報を多く持っている地元の不動産業者です。専門的な知識に基づいたアドバイスも心強いです。また、茨城町には移住者のために空き家を紹介する空き家バンク制度がありますのでご相談ください。

物価はどうですか？

大型スーパーなどがあるためか、物価は安定しています。また、田舎ならではの、近所の農家さんと仲良くなると野菜を頂けることも。賃貸物件の家賃は、水戸市などに比べ安いといわれています。

買い物する場所がありますか？

最近ではスーパーや飲食店などが入った複合施設ができ、買い物も便利になりました。また、地元で採れた野菜などを置く直売所もあり、安く新鮮な農畜水産物を手に入れることができます。もちろんそれぞれの地域に商店、コンビニがありますのでちょっとした買い物もできます。

地域にとけ込むには どうしたらいいですか？

郷に入ったら郷に従いましょう。地域ではそれぞれに風習やしきたり、伝統文化があり、それが田舎の魅力となっています。そうしたものを尊重し、地域の行事に積極的に参加すれば、地域との絆は深まっていきます。

ご近所付き合いは どうすればいいですか？ 田舎ではプライバシーが ないと聞いたのですが？

田舎の人は地域で助け合って暮らしてきたので、移住者だけではなく、常に周りの人々の状況を気にかけています。また、都会からやってきた人々がどのように暮らしているのかは非常に興味があります。こうした状況をうまく活用して地域の人々に溶け込めば、楽しい田舎暮らしができます。

どうやって 仕事を探せばいいですか？

田舎に仕事があるかどうか考えると不安ですよね。しかし、人が生活しているのですから仕事はあります。企業に勤める場合は、ハローワークや県の相談窓口(下記参照)で探すことができます。茨城町は県央に位置し、高速道路も整備されているため、県内へ通勤しやすい環境です。また、茨城町の基幹産業である農業に従事したり、先輩移住者のように起業したりと仕事はさまざまです。

いばらき移住・就職相談センター

就職支援を含む移住相談、茨城県及び県内市町村に関する情報の提供などを行っています。

東京都千代田区平河町2-6-3
都道府県会館9階 茨城県東京事務所内
TEL: 03-5212-9088
時間: 10:00~17:00(月~金)
※土日祝日、年末年始は休み

いばらき地域しごと支援センター

茨城県水戸市三の丸1-7-41
(いばらき就職・生活総合支援センター内)
TEL: 029-233-1601(直通)
029-300-1916(代表)
時間: 9:00~17:15(月~金)
※土日祝日、年末年始は休み

農業をはじめたいのですが？

町内には県立農業大学校があり、農業を学ぶにはうってつけです。なお、茨城町の農家は高齢化と担い手不足が進んでおり、耕作放棄地が少しずつ増えてきています。就農をお考えの方は、ぜひ茨城町農業公社へご相談ください。

一般社団法人 茨城町農業公社

担い手の経営環境の改善や次世代の後継者育成のために、「新規就農希望者受入研修」や「人材バンク」を実施しています。

茨城県東茨城郡茨城町
小堤1037番地1(ゆうゆう館内)
TEL: 029-215-8002
時間: 8:30~17:15(月~金)
<http://www.ibaraki-agri.com/>
※土日祝日、年末年始は休み



マイカーは必要ですか？

田舎ではよくあることですが、マイカーは必須です。茨城町には電車が通っていません。路線バスはありますがルートが限られるほか、本数も少ないので自分の都合のよい時間にあるとは限りません。「一家に一台」ではなく「一人に一台」が茨城町の常識です。

移住に関する 問合せ・ 相談窓口

茨城町町長公室企画政策課

茨城町への移住に関する相談窓口です。お気軽にお問い合わせください。

茨城県東茨城郡茨城町小堤1080番地
TEL: 029-215-8003
E-mail: shinseisaku@town.ibaraki.lg.jp
時間: 8:30~17:15(月~金)

いばらき暮らしサポートセンター

移住相談、茨城県及び県内市町村に関する情報の提供などを行っています。

東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館8階
TEL: 080-9552-5333
時間: 10:00~18:00
休日: お問い合わせください

支援・サポート

結婚・出産

●婚活応援推進事業

成婚率高し!? 結婚を希望する男女を応援するため、出会いの場の提供などを行っています。

●結婚祝金支給

町が実施する婚活イベントを通して結婚されたカップルに支給しています。

●不妊治療費助成

医療保険が適用されず、治療費が高額である不妊治療に要する費用の一部を助成しています。1回最大15万円。
※茨城県不妊治療費助成金を受給している方に限ります。
その他、条件があります。

●出産祝金支給

町の次代を担う子どもの誕生を祝福するとともに健やかな成長を願い、新生児が生まれた家庭に2万円を支給しています。

●ハッピー子育てメール

妊娠中の方や出産された方が安心して出産や子育てができるように、妊娠経過や乳児の月齢に応じた情報をメールで送信しています。(登録が必要です)

●医療福祉費支給(マル福)

妊産婦、小児から中学生までが対象。医療保険を使って医療機関等にかかった場合の一部負担金を助成する制度です。茨城町では対象者を中学3年生まで拡大しています。

●パパママ教室

妊娠中の方とご家族を対象とした教室。マタニティビクスやイクメン料理教室などを実施しています。

待機児童

ゼロ

0

働くパパママの味方です

(平成30年2月1日時点)

●冷暖房完備

一部の小学校を除き、すでに冷暖房が整備されています。平成31年度には全小中学校への整備を予定しています。

●放課後児童クラブ

保護者が就労等により昼間家庭にいない児童のために、放課後適切な遊びや生活の場を提供することにより、児童の健全育成を図っています。

●放課後子ども教室

共働き家庭等の増加や安全な遊び場の不足等により、現在の子供たちは友達と遊んだり、地域の人々とふれあったりする機会が減少しています。放課後の小学校を利用して、さまざまな体験活動を行います。

子育て・教育

●子育てコンシェルジュ

教育・保育施設や子育て支援事業を円滑に利用できるような支援を行っています。

●子育て支援センター

子どもとの絆づくりを大切にした活動を行います。遊戯室「まんまる一む」は無料開放。



●チャイルドシート購入費助成

出生のお子さん1人に対し、チャイルドシート購入費の一部を助成しています。最大1万円。

●保育料の軽減

幼稚園や保育園、認定こども園などをきょうだいで利用する場合、軽減対象※となる子どもから順に2人目は半額、3人目は無料とする軽減措置があります。
※軽減対象は世帯によって異なり、特例もあります。

●スクールバス

遠距離通学となる児童・生徒の通学の安全や負担の軽減を図るため、スクールバスを運行しています。

●ICT活用

タブレットPC・電子黒板・無線LANの導入で、先進的な教育を行っています。



くらし・仕事・健康

●定住コンシェルジュ

移住を希望する方への情報提供や相談などのお手伝いをしています。

●移住・定住支援事業

転入者に対して、最大100万円の住宅リフォーム補助(工事金額の4割)を行っています。

●茨城町空き家バンク

町内にある空き家を紹介し、所有者と利用希望者の橋渡しを行っています。

●新規就農希望者受入研修

町外に住む就農希望者を受け入れています。住居の斡旋と家賃補助、農地・農機具等無償貸与し、就農に向けた研修を実施しています。(15ページ参照)

●人材バンク事業

町農業を支援する援農者を募集しています。(15ページ参照)

●いきいき健康づくり推進事業

生活習慣病予防及び健康寿命の延伸を目的とし、保健師、管理栄養士、職員が地区の公民館に出向き、健康講話及び健康相談を行っています。

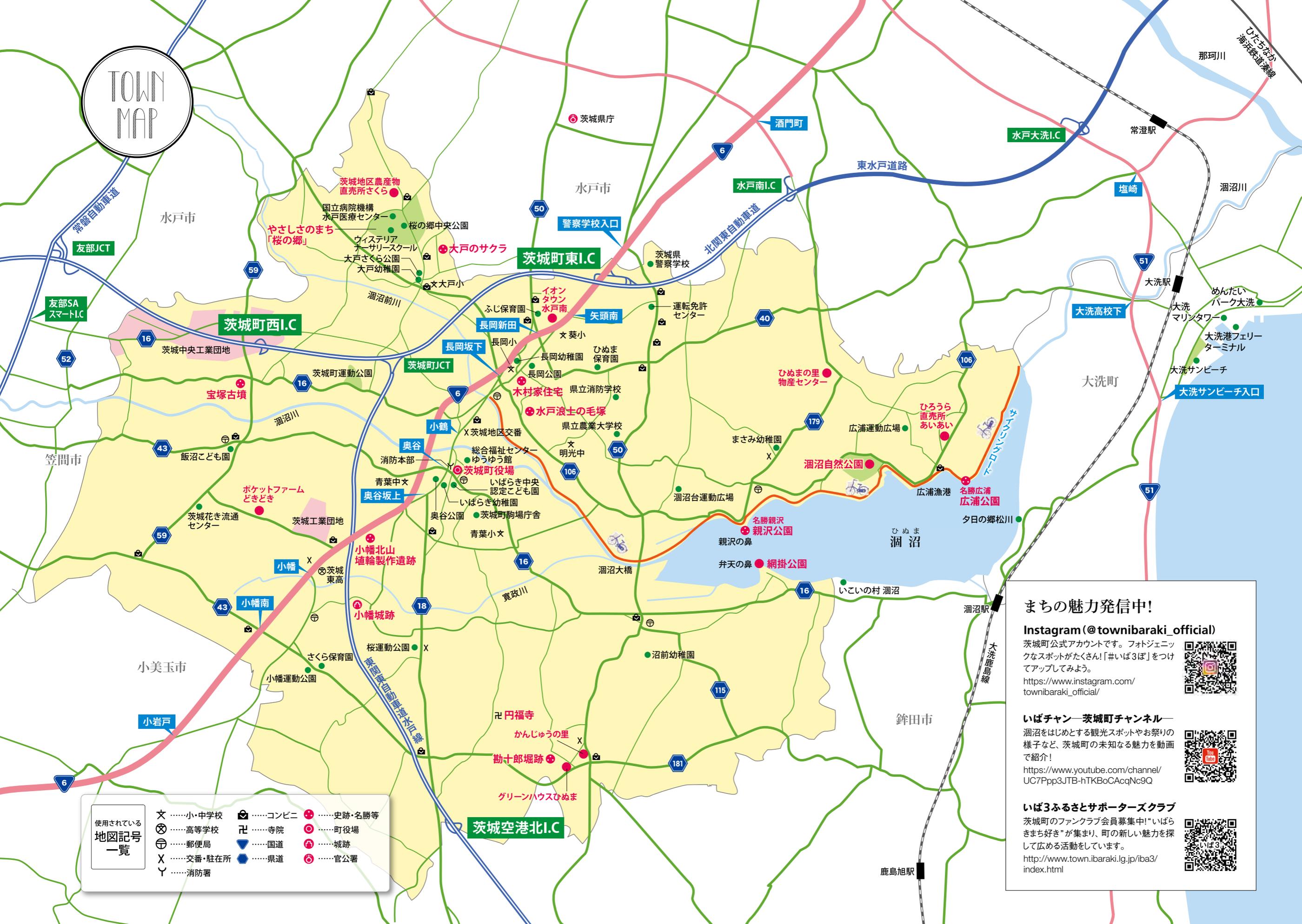
●高齢者福祉タクシー利用料金助成事業

高齢者の外出促進や日常生活の利便性を図るため、タクシー初乗り料金を助成しています。

●がん検診推進事業

疾病の早期発見・早期治療を目的とし、胃がん・大腸がん・婦人科がん・骨粗しょう症検診において、特定の年齢の方を対象に無料で実施しています。

TOWN MAP



使用されている
地図記号
一覧

○	小・中学校	Ⓜ	コンビニ	●	史跡・名勝等
Ⓧ	高等学校	Ⓜ	寺院	●	町役場
Ⓜ	郵便局	Ⓜ	国道	●	城跡
X	交番・駐在所	Ⓜ	県道	●	官公署
Y	消防署				

まちの魅力発信中!

Instagram (@townibaraki_official)
茨城町公式アカウントです。フォトジェニックなスポットがたくさん!「#いば3ぼ」をつけてアップしてみよう。
https://www.instagram.com/townibaraki_official/

いばちゃん—茨城町チャンネル—
酒沼をはじめとする観光スポットやお祭りの様子など、茨城町の未知なる魅力を動画で紹介!
<https://www.youtube.com/channel/UC7Ppp3JTB-hTKBoCacqNc9Q>

いば3ふるさとサポーターズクラブ
茨城町のファンクラブ会員募集中!“いばらきまち好き”が集まり、町の新しい魅力を探して広める活動をしています。
<http://www.town.ibaraki.lg.jp/iba3/index.html>